



憲法の象徴
まなざしを
つなぐ

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

2016.12.27 No.1451.

ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX

さがらとしこ事務所
赤羽北9-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガンティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144

ことしもお世話になりました。2017の新しい年もよろしく。
沖縄と連帯し、99%の国民のための政治を。



そね都議ととら
赤羽西口は 13/22

安倍政権は臨時国会を延長、再延長し、憲法三兄弟というTPP承認・関連法と年金カット法、カジノ解禁推進法を強行しました。

そのどれもが、国民の反対を押しきっての暴走です。

新しい年は、国民のための政治こそ。



欠陥機オスプレイに391億円
新年度予算案 軍事は最高額に
社会保障費は1400億円削減
格差と貧困が広がるばかりです。

◎社会保障費は、毎年の自然増分と、バツサリ削減です。その上、医療費や介護の国民負担を増やすというのですから、北区をはじめ、全国の自治体の新年度予算編成にも重大な影響がでています。

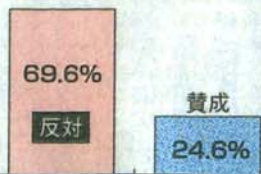
◎97兆4500億円のうち、不要不急のリニア新幹線のための財投融資やオスプレイなどで、1.5兆円も、**くらし良くする政治こそ。**

日本テレビ調査(16~18日)



カジノ解禁への
厳しい世論

共同通信調査(17、18日)



北区から野党と市民の共闘を
市民連合が北とぴあさくらホールで
シンポジウム

◎「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の結成集会在北とぴあさくらホールで開催してから、ちょうど一年。

◎12月21日、同じ会場で「衆院選をどう見たか〜立憲主義の回復を」と、シンポジウムが開かれました。
詳細は、裏面とごらん下さい。



写真、シンポジウムの発言者の方々

閉会あいさつの中で、会場の池内さおり議員が紹介されました。

12/28(水) 2時-3時 赤羽西口で被災者支援 豊洲移転の中止を求める署名

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(市民連合)が21日夜、東京都内でおこなった「衆院選挙をどうたたかうか」立憲政治の再生を」と題したシンポジウム。基調講演につぎ、4氏がそれぞれの立場から政治を変える思いを語りました。



市民連合が開いた「衆院選挙をどうたたかうか」シンポジウム(21日、東京都北区)

政治変える思い

「汚染水は完全にコントロールされている」「私はTPP(環太平洋連携協定)反対など一言も言ったことがない」「強行採決は一度も考えたことがない」な

「汚染水は完全にコントロールされている」「私はTPP(環太平洋連携協定)反対など一言も言ったことがない」「強行採決は一度も考えたことがない」な

「安倍政治の問題点について問われて、「私は若いころ先輩から聞きかじり、思い込み、半生可能な知識で記事を書くな」といわれました。安倍さんは平気でそれをすると指摘しました。米国大統領選のトランプ氏の勝利にふれ、「本当のことを言わない、うそを平然と言う政治状況が起きている日本も同じだ」とのべました。

頑張っている記者を応援

ジャーナリスト
(子モラルTV代表・
元朝日新聞編集委員)
山田厚史さん



「安倍首相の発言を紹介。『そういうものに、メディアが対応できていない。チェックし、戒める方が落ちている』と語りました。

経済財政運営自体が違憲

東京社会科学研究所
教授(経済学)

大沢真理さん



格差と貧困の広がりが、ベトナム(安倍政権の経済政策の破たんについて、大沢さんは「雇用を増やした、賃金をあげた、景気を回復させた」といいますが、どれもそう」と告げました。

「その最たるものが賃金です。安倍首相就任1年余で、実質賃金が当時の民



主克政権時と比べて、6%低下し、現在もその水準だと指摘。「はなはだしい賃下げ内閣です。雇用も、増えたのは非正規だけで正社員が減っています。この結果が実質賃金の大幅な低下につながっている」

経済成長には、所得の最も低い層への子口入れが有

過去と将来の国民に責任

東京大学教授(憲法学)

石川健治さん

基調講演

シンポでは、東京大学教授の石川健治さん(憲法学)

が基調講演しました。石川さんは「政党連合闘争の時代」という認識を示し、「ここではフラットホームが重要になる」と指摘。市民連合は、その



「インターネットの普及などによって、メディアをめぐる状況が急激に変わってきている」と指摘する山田さん。「産業として腰がふらついている。(メディアに) いたいことはたくさんあるが、頑張っている記者もいる。メディアをひとまとめに批判するのはなく、良い記者を応援し、育ていく視点が大事だと思」

筑波大学大学院

諏訪原健さん



「安倍首相のやっていることはいちばん問題だと思うのは、10年後、20年後、50年後、100年後のことをまったく考えていない政治になっていることだ」とのべ、「吾輩として思うのは、個人としていかに自由に生きていける社会をつくるかが大事になっている」と訴えました。

「いまの若者は社会のシステムに助けられて生きていけることになっていない。それが若者の貧困とし

「生存権が脅かされ、尊厳が踏みにじられている状況です」(日本は)政府が頑張れば貧困がかえって増え、法違反だと考えています。この政権を一刻も早く退陣させなければなりません」

若者生きていける社会へ

「僕は奨学金差1000

野党と市民で共通政策を

法政大学教授(国会)

山口二郎さん

司会を務めた山口二郎さんは「野党共闘には力がある」と強調しました。世論

万回以上唱えています。親からの仕送りはもらえない。そういうなかで若者は生懸命アルバイトをして大学を出る。社会に出て安心できる暮らしはない。ブラック企業に入ることだってある。そもそも正社員になれるかどうかかわからない。若者が生きていけない状態なのに10年後、20年後、50年後の社会も「打ち出していくきかを考えたい」と力を込めました。

「地域に(衆院選の)予定候補が2人いたら、2人を呼んで勉強会をやりましょう。地域からどんな政策を打ち出していくかを考えたい」と力を込めました。

野党と市民で共通政策を



調査の結果をもとに、野党

共闘が実現するとそれぞれの野党支持者ががたまり、加えて無党派層の6割近くが支持したことを紹介。選挙が一本にまとまると、みんなが動く」とのべました。

新潟県知事選挙では民進党支持者の9割、共産党支持者のほぼ100%、無党派の6割強、自民党支持層の2割ほどが脱原発を掲げる米山隆一氏に投票したことを示し「これが勝利の方程式だ」と指摘。「衆院選挙に向けて野党結集の機運を高めていく。共通政策を野党と市民でつくる新しい実験をやりたい」と力を込めました。

市民連合は4野党に対して共通政策に向けた考え方を提案しています。山口さんは脱原発も入れてある。自民・公明がバケれないようなものがった政策を盛り込みたい。社会保障、雇用、教育、子育てなどで個人の尊厳という理念を具体化するものにしたい」と意気込みを語りました。

議の回復③個人の尊厳」をあげました。「私の見るところ、ここから意味をもってくるのは『個人の尊厳』ではないか」として、自由・責任・尊厳の三つの角度から説明しました。そのなかで、「立憲主義

の要に責任主義がある」といいます。だれのためかといは、将来の国民のためです。石川さんは「選挙権は公務である」とのべ、「過去と将来の国民に対して責任をもって投票しなければならないのではないか」と訴えました。